

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 05 07	中期総合計画主要施策番号		1-08,2-03,5-06		担当課	部・課	農政部農地整備課	
事業名		中山間総合整備事業(公共【農村整備】)				内線		3154		
						E-mail		nochi@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	中山間地域における様々な不利な条件を改善するために、農村の活性化に意欲ある地域を対象として、農業生産基盤と農村の生活環境基盤を総合的に整備し、地域の活性化と定住の促進を図るとともに、国土・環境の保全に資する。								
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 中山間地域は生産基盤整備や生活環境整備の遅れにより、平地農村、都市との経済的格差が拡大し、過疎化や高齢化の進行等により、農業・農村における活力が失われつつある。 [原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・傾斜地が多く、基盤整備が遅れている等、地形的・地理的に制約がある。 ・平地農村、都市との経済的格差が拡大し、若年層の流出にともなう過疎化、高齢化が進行している。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 中山間の地形条件等不利な地域において、農業生産基盤や生活環境基盤の整備を行い、安心して快適に暮らせる農村を構築する必要がある。								
		・農業生産基盤(用排水路、農道等)、生活環境基盤(農村公園、集落道等)の更新整備 中山間総合整備事業 (補助率 県営【国】55%、【県】30%、【市町村等】15%、団体営【国】55%、【県】1%、【市町村等】44%) ・農業生産基盤(用排水路、農道等)、生活環境基盤(農村公園、集落道等)の更新整備 村づくり交付金 (補助率【国】50%、【県】1%、【市町村等】49%)								
		実施期間	H2 ~		根拠法令等 土地改良法、中山間地域総合整備実施要綱、村づくり交付金実施要綱					
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
・中山間地域における農道等の整備を進め、活力ある住み良い農村の実現を図る。 ・山腹に位置する農業用排水路の整備により、中山間地域に点在する棚田等が持つ国土保全機能維持を図る。 「第6次長野県土地改良長期計画」における期間内整備目標 ・中山間地域での農道等の整備延長120km(H20～H24) ・山腹水路等の改修箇所数200箇所(H20～H24)		平成20年度整備目標は、次のとおりとする。 ・中山間地域での農道 24km (目標に対する進捗20%) ・山腹水路等 40箇所 (目標に対する進捗20%)			・中山間地域での農道は、23km実施した。 ・山腹水路等の改修は、36箇所実施した。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下			
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	3,612,242	3,448,958	1,851,836	国庫・県庫	公共		
	決 算 額 (B)		千円	3,421,154	3,350,632		実施方法	直接、補助		
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	367,018	163,722	200,481	歳出節別内訳等	予算現額(最終予算+繰越額等) 4,372,933 1地区当たりの平均事業期間 6.8年		
	概 算 人件費	従事する職員数	人	45.20	40.40	21.90	(単位: 千円)			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	3,421,154	3,350,632	1,851,836					
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	実施地区数		地区	33	29	28				
	中山間地域での農道の整備延長		km	17	23	24	20年度完了地区数 4地区			
	山腹水路等の改修箇所数		箇所	29	36	40				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・土地改良法に基づき、県が主体となっている事業と事業費の一部を県が補助している事業がある。 ・事業内容は農業農村の多面的な機能確保することを目的としており、事業効果は地域住民等にも広く及んでいる。 ・事業執行にあっては、コスト縮減を図りながら事業内容の精査に取り組んでいる。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		中山間地域における農業基盤整備や農村生活環境基盤整備は平地に比べて遅れており、また高齢化や担い手不足の問題が深刻化してきているため、地域の実情に応じた整備を実施し、地域の活性化を図る必要がある。 また環境への配慮やコスト縮減に取り組むとともに、優先度を踏まえた整備による事業効果の早期発現を図る必要がある。							